

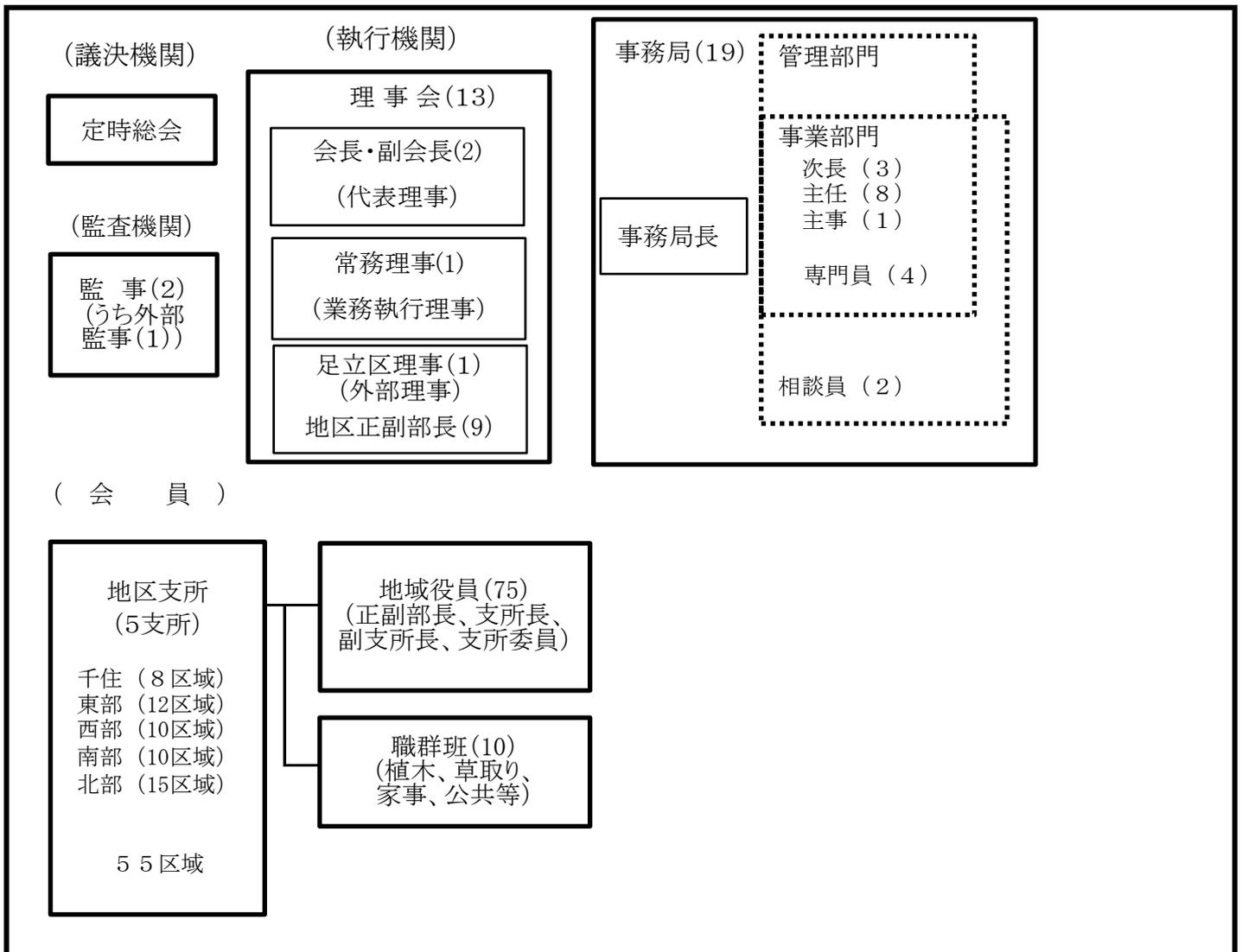
令和8年度 足立区シルバー人材センター 事業概要・収支予算説明書

1 概要説明

令和8年1月16日現在

名 称	公益社団法人 足立区シルバー人材センター
所 在 地	足立区西保木間一丁目8番2号
設立年月日 公益認定	昭和53年4月20日(平成2年7月2日名称変更) 平成23年4月1日公益社団法人
代 表 者	会 長 國井 幹雄
職員数(実員)	常勤13名(派遣1名 固有12名) 専門員4名 相談員2名 合計19名
基本財産	-----

2 組織機構図



3 基本目標・基本理念及び主な公益目的事業

3 基本目標・基本理念及び主な公益目的事業

【基本目標】 高齢者の希望に応じて就業の機会を確保し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図り、活力ある地域社会に貢献する

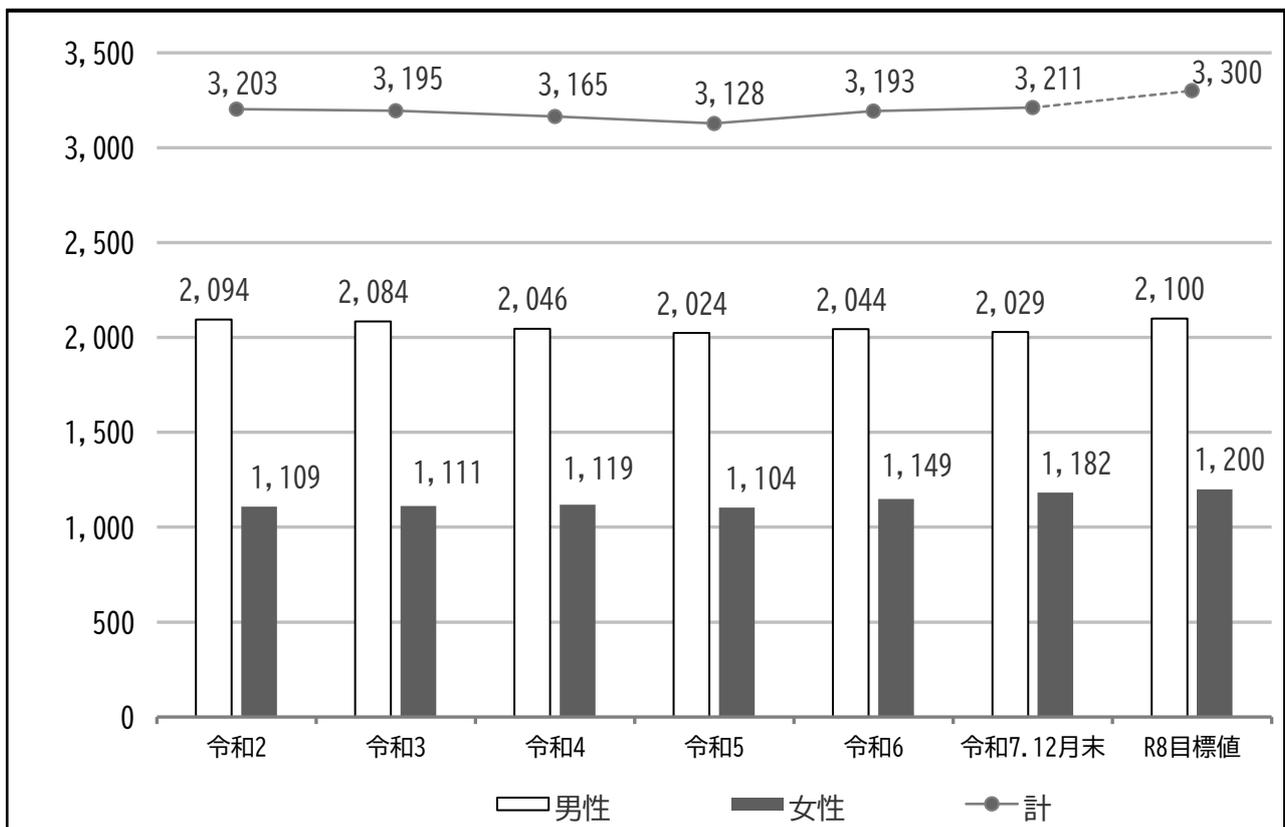
【基本理念】 1 自主的・自立的な組織理念 2 共働・共助の事業理念

【主な公益目的事業】(定款第4条)

- 1 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための、就業の機会確保及び提供
- 2 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
- 3 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業
- 4 高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営

4 会員数の推移(令和2年度から6年度は年度末の数値) (単位:人)

年度	男性	女性	計	対前年度	平均年齢
令和2	2,094	1,109	3,203	△ 209	75.3才
令和3	2,084	1,111	3,195	△ 8	75.8才
令和4	2,046	1,119	3,165	△ 30	76.5才
令和5	2,024	1,104	3,128	△ 37	76.9才
令和6	2,044	1,149	3,193	65	77.2才
令和7.12月末	2,029	1,182	3,211	18	77.5才
R8目標値	2,100	1,200	3,300	-	-



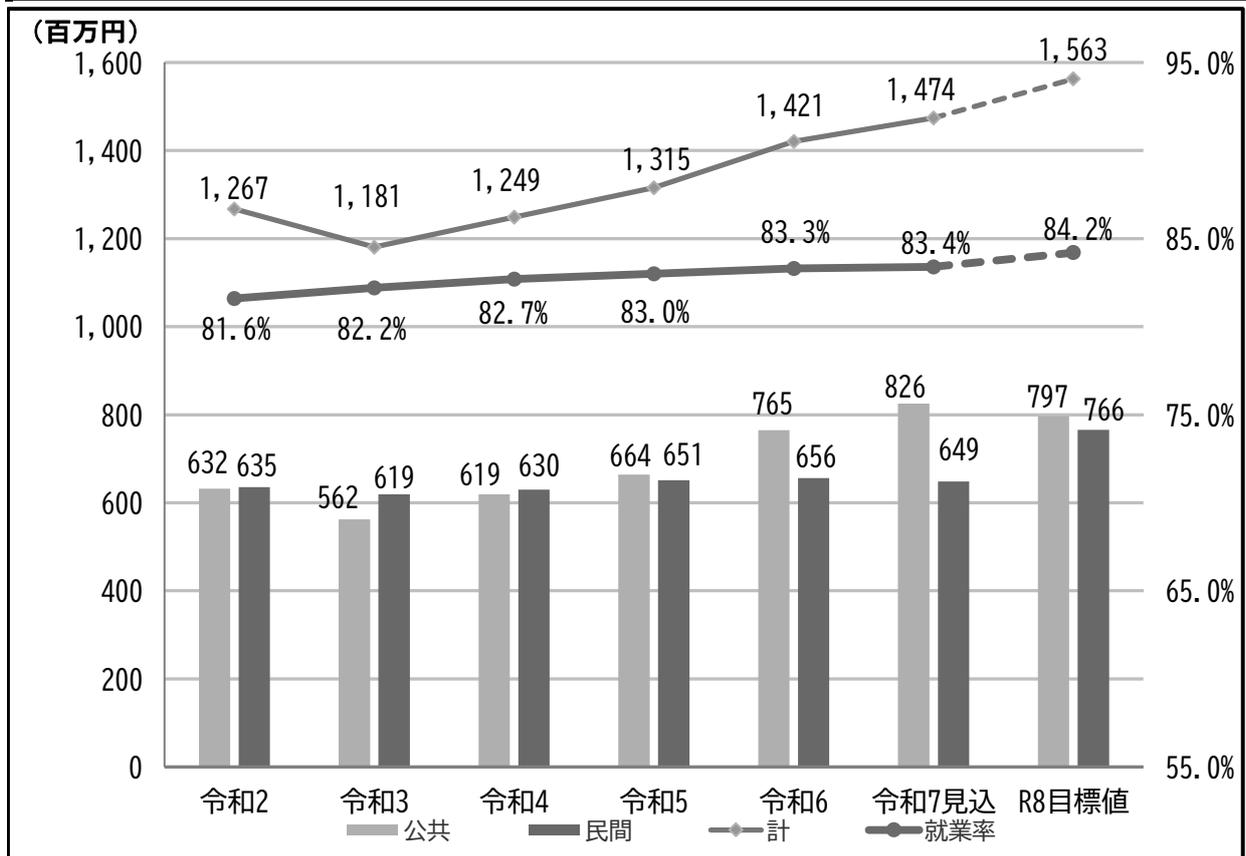
(※)破線は目標値

令和6年度末との比較で男性会員数が減少しているが、一方で女性会員数は増加しており、全体の会員数も増加している。引き続き、増加傾向にある女性会員を中心に新規会員の獲得に注力していく。

区主催または地域のイベントに参加し、シルバー人材センターの存在をアピールするとともに「トキメキ」や「あだち広報」等で幅広くセンターの魅力をPRし、新規会員の獲得に励む。

5 契約額及び就業率の推移

年度	契約額(千円)	契約額増減率(%)	会員就業率(%)	就業実人数(人)
令和2	1,267,396	△ 5.6	81.6	2,616
令和3	1,180,909	△ 6.8	82.2	2,627
令和4	1,248,997	5.8	82.7	2,618
令和5	1,315,390	5.3	83.0	2,597
令和6	1,420,939	8.0	83.3	2,661
令和7 ※見込み	1,474,160	3.7	83.4	2,680
令和8 目標値	1,562,609	-	84.2	2,780



会員就業率=就業実人数÷全会員数 (※)破線は目標値

※令和7年度の契約額の見込みは1,474,160千円であるが、R7.12月時点の事業実施状況は以下のとおり。()は前年同月比及び同月数

契約額 1,144,476千円、前年同月比 5.1%増

会員就業率 81.46% (80.17%)、就業実人数 2,616人 (2,584人)

6 令和8年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 普及啓発

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
		9,876,930	12,061,504	2,184,574
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
ア	センター広報紙の発行(年間発行数) ※税抜き 通常号4,000部 R7@1,680円×80箱 @2,028円×1箱 R8@1,680円×80箱 @2,028円×1箱 新年号 R7@75.0円/部×6,000部 R8@80.0円/部×5,000部	50,000 部	49,000 部	△ 1,000 部
	予算額 (単位:円)	689,070	590,070	△ 99,000
	【内容】 ①センター広報紙の発行(配布先:会員、区関係各課、警察、消防)4,000部/月 ②新年号は、上記のほか区公共施設・区議会に配布 (R7比→R8 △1,000部) 新年号の残部を踏まえた印刷部数削減に伴う減。 ③R7の300号記念号印刷代@40,000円減。			
イ	トキメキ記事(就業中の会員の紹介等)及び広告 (会員募集)の掲載	17 回	14 回	△ 3 回
	予算額 (単位:円)	4,664,880	6,374,720	1,709,840
	【内容】 ①トキメキ記事の掲載(就業中の会員の紹介等)発行部数 347,000~352,000部/回 ②トキメキ広告の掲載(会員募集の広告) R8年間14回(R7比 △3回)(記事・広告掲載数) R8は掲載回数を削減したが、トキメキ記事掲載単価が上がったため増。(R7 110,000円 →R8 125,000円)			
ウ	センター事業案内チラシ新聞折込 (印刷代 R7@8.45円/部 R8@8.90円/部) (折込委託費 R7 582,400円 R8 640,640円)※税抜き	70,000 部	70,000 部	0 部
	予算額 (単位:円)	1,941,940	2,075,304	133,364
	【内容】 センター事業案内チラシの新聞折込を年2回実施(折込部数予定 10月、3月) 印刷単価並びに折込委託費が上がったことによる増。			
エ	新規会員募集用チラシの印刷・配布 (印刷代 R7@5円/部 R8@5円/部) ※税抜き	70,000 部	70,000 部	0 部
	予算額 (単位:円)	847,000	385,000	△ 462,000
	【内容】 新規会員募集用チラシを地域の役員が中心に配布 R7【70,000部】R8【70,000部】 会員が少ない地域(宮城・小台・新田等)に重点的に配布を行う。 R8は広報配布会員の負担が大きく委託をやめたことによる減。			
オ	あだち広報の広告掲載(皆増)	0 月	3 月	3 月
	予算額 (単位:円)	0	180,000	180,000
	【内容】 あだち広報の広告掲載開始による増(6月、10月、3月)。2号広告(年額163,637円)税抜き。			

6 令和8年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 普及啓発

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
		9,876,930	12,061,504	2,184,574
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
カ	区内バス広告(入会募集)掲載	0 台	55 台	55 台
	予算額(単位:円)	0	722,370	722,370
	【内容】 区内を運行する東武バスの一部に入会募集及び受注依頼の広告を掲載。			
キ	駅看板広告(入会募集)掲示	3 か所	3 か所	0 か所
	予算額(単位:円)	1,734,040	1,734,040	0
	【内容】 竹ノ塚、西新井、北千住駅の3か所の駅構内に入会募集及び受注依頼のPR用ポスター等を掲示。			

(2) 就業開拓

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
		3,152,820	6,555,780	3,402,960
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
ア	就業開拓員(会員)による企業訪問活動 配分金(単価×時間数) R7@1,163円×40H×12月×5人 R8@1,226円×40H×12月×10人 ※税抜き	12 月	12 月	0 月
	予算額(単位:円)	3,070,320	6,473,280	3,402,960
	【内容】 事業所へのリーフレット等の投函や新規就業先の開拓及び既存発注者への訪問を行い、新規発注や発注継続の依頼を促す(R7.11月 1,246件)。就業開拓員の人員増(R7 5人→R8 10人)と訪問単価アップに伴う配分金の増。			
イ	家事援助サービス用チラシ印刷・配布 (印刷代 R7@7.5円/部 R8@7.5円/部)※税抜き	10,000 部	10,000 部	0 部
	予算額(単位:円)	82,500	82,500	0
	【内容】 家事援助サービス用チラシを地域ごとに会員が配布(随時)。			

(3) 就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
		1,775,700	1,775,700	0
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
ア	安全管理講習会 (研修講師謝礼、役員会場設営費用弁償)	700 人	700 人	0 人
	予算額 (単位:円)	106,000	106,000	0
	【内容】 ①交通安全自転車講習会で自転車の乗り方や自転車事故防止等の講座を実施 (R7 2回→R8 2回)。 ②転倒防止等のために日常でできる運動習慣等の講座を実施 (R7 1回→R8 1回)。			
イ	自転車安全教育指導員養成講習 (講習地までの会員交通費)	4 人	4 人	0 人
	予算額 (単位:円)	12,000	12,000	0
	【内容】 自転車の乗り方や自転車事故防止等の講義ができる自転車安全教育指導者を会員の中から養成。			
ウ	接遇研修 (全会員対象・一部外部講師)	13 回	13 回	0 回
	予算額 (単位:円)	767,800	767,800	0
	【内容】 全会員を対象に各地区で外部講師を招いて接遇研修を実施。			
エ	職能研修 (延べ310人) (講師謝礼、研修材料費等)	31 回	31 回	0 回
	予算額 (単位:円)	889,900	889,900	0
	【内容】 ①家事援助グループ研修 (入門研修(12回/120人)、クリーン研修(8回/80人)、各地区独自研修(7回/70人)) [講師謝礼570,000円、材料費87,000円] ※R7、R8同額 ②スキルアップを図るための技能習得研修(1回/10人)を実施。 [委託費56,000円] ※R7、R8同額 ③技能班の安全及び技能研修会を実施 (植木班(1回/10人)、草取り班(2回/20人))。 [委託費96,000円] ※R7、R8同額			

6 令和8年度の主な公益目的事業等詳細内容

(4) 熱中症予防対策

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
			8,646,000	8,627,850
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
ア	熱中症予防対策 (冷感インナー (@4,050円×1,245個) と冷感 キャップ (@2,250円×1,245個) の購入) ※税抜き	1,200 人	1,245 人	45 人
	予算額 (単位:円)	8,646,000	8,627,850	△ 18,150
	【内容】 会員の夏場の屋外での作業に伴う熱中症リスクを軽減するため、冷感インナー及び冷感キャップの配布 を行う (対象者1,245名 7,843,500円)。 ※税抜き			

(5) 社会奉仕活動等事業

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
			550,000	550,000
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
ア	ボランティア活動(延べ900人) (ごみ袋、軍手、お茶代等)	55 回	55 回	0 回
	予算額 (単位:円)	550,000	550,000	0
	【内容】 ①駅周辺・街路・歩道等での空き缶・ごみ拾い。 ②公園等公共施設外周等の清掃及び草取り。 ③ボランティア活動時にビブスや腕章を着用し、センターの周知を図る (支所単位で企画実施、チラシ配布 含む)。			

(6) 調査研究

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
			22,000	33,000
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
ア	事業実績の分析と事業所等意向調査	100 件	100 件	0 件
	予算額 (単位:円)	22,000	33,000	11,000
	【内容】 ①就業開拓員による企業訪問を行うためアンケートの発送及び返送に伴う郵送切手代 220円×100件 (皆減) ②アンケート回収の際の販促品 330円×100件 (皆増)			

(7) 事業の企画運営

予算額 (単位:円)		令和7年度 (A)	令和8年度 (B)	増減(B-A)
		1,076,000	1,076,000	0
主な内容		令和7年度 予算(C)	令和8年度 予算(D)	増減(D-C)
ア	安全管理委員会 (会議費用弁償@2,000円×延べ90人)	5 回	5 回	0 回
	予算額 (単位:円)	180,000	180,000	0
	【内容】 会員の健康増進と安全の向上に関する事項について、その対策の推進を検討。			
イ	適正就業推進委員会 (会議費用弁償@2,000円×延べ28人)	4 回	4 回	0 回
	予算額 (単位:円)	56,000	56,000	0
	【内容】 適正な内容で会員が就業しているか、請負・委任契約から逸脱していないか等を検討。			
ウ	就業開拓委員会 (会議費用弁償@2,000円×延べ20人)	4 回	4 回	0 回
	予算額 (単位:円)	40,000	40,000	0
	【内容】 就業開拓員による企業訪問や就業開拓をどのように行い受注に結びつけられるかを検討。			
エ	会員増強委員会 (会議費用弁償@2,000円×延べ40人)	4 回	4 回	0 回
	予算額 (単位:円)	80,000	80,000	0
	【内容】 会員の入会促進や退会抑制等と、入会促進の広告や出張入会説明会等の普及啓発について検討。			
オ	広報いちょうびあ編集員会議及び通信員合同会議 (印刷諸謝金@5,000円×4人/12回 会議費用弁償@2,000円×5人/48回)	60 回	60 回	0 回
	予算額 (単位:円)	720,000	720,000	0
	【内容】 広報紙「いちょうびあ」の紙面の編集や取材、他団体との連絡調整を行う。 毎月月末の印刷を編集員に委託している。			

7 収支予算(正味財産増減計算ベース)

7 収支予算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・法人会計

単位：円

科 目	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
受託事業収益				発注者から受託した事業による収入
受取配分金 <1>	1,373,700,000	1,451,250,000	77,550,000	令和8年度業務量・受注額増による増 インボイス制度による消費税納税 について 受取配分金等にかかる消費税経過措 置20%・・・13,747,000円 消費税経過措置50%・・・35,755,000円 経常収益の受取事務費(3)、 経常費用の租税公課(41)へ計上 ※参考 消費税経過措置30%・・・ 20,854,000円
受取材料費等 <2>	9,000,000	15,000,000	6,000,000	あだち広報配送費等値上げによる増
受取事務費 <3>	110,569,000	139,618,000	29,049,000	インボイス制度による負担分変更による 消費税納税分の増 ※参考 インボイス経過措置30%の場合 (125,345,000円)
施設管理受託収益 <4>	2,258,000	2,405,000	147,000	最低賃金の上昇に伴う受託費の増
受託事業収益計 <5>	1,495,527,000	1,608,273,000	112,746,000	
受取会費				会員の年会費及び拠出金収入
正会員受取会費 <6>	3,400,000	3,300,000	△ 100,000	年会費1,000円×3,300名分 会員数の減による減
配分金拠出金受取会費 <7>	26,107,000	28,066,000	1,959,000	配分金(公共・民間企業・一般家庭の 受託事業収入)の増に伴う増 ※拠出金:受取配分金の2%を支所運営 経費に充てるもの
受取会費計 <8>	29,507,000	31,366,000	1,859,000	

(1) 経常収益

公益目的事業会計・法人会計

単位：円

科 目	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
受取補助金等				
受取区補助金 <9>	141,650,000	147,641,000	5,991,000	職員給料ベースアップ等による増 ア. 人件費補助 128,041,526円 (正規職員・非常勤職員等 給料手当・社会保険事業主負担等) イ. 人件費以外の管理・事業に対する補助 10,233,835円 (賃金・OA機器・業務システム保守 料・普及啓発チラシ印刷等) 118,800円 (ホームページ年額利用料 8,627,850円 (熱中症予防対策の冷感インナーと 冷感キャップの配布) 1,122,000円 (駐車場利用料)
受取連合交付金 <10>	7,429,000	7,329,000	△ 100,000	東京都シルバー人材センター連合経由 の国補助金(人件費・賃金) 女性比率減少見込みに伴う交付金減
受取区コミュニティ施設 活用補助金 <11>	720,000	720,000	0	西部支所(関原お休み処)賃料の補助 家賃90,000円×2/3×12カ月分 (足立区コミュニティ施設活用商店街活 性化事業費補助金)
受取補助金等計 <12>	149,799,000	155,690,000	5,891,000	
雑収入				
受取利息 <13>	1,000	2,000	1,000	金利上昇により銀行利息による増
雑収益 <14>	491,000	311,000	△ 180,000	イベント等の事業収入減による減
雑収入計 <15>	492,000	313,000	△ 179,000	
経常収益計 <16>	1,675,325,000	1,795,642,000	120,317,000	

7 収支予算(正味財産増減計算ベース)

(2) 経常費用 公益目的事業会計

単位：円

科 目	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
事業費				
支払配分金 <17>	1,373,700,000	1,451,250,000	77,550,000	受取配分金 <1>と同額
支払材料費等 <18>	9,000,000	15,000,000	6,000,000	受取材料費 <2>と同額
職員基本給 <19>	50,338,000	52,154,000	1,816,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 正規職員定期昇給による増
職員特別手当 <20>	25,032,000	27,529,000	2,497,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 正規職員定期昇給による増
職員諸手当 <21>	18,248,000	17,702,000	△ 546,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 超過勤務手当等変更による減
法定福利費 <22>	16,191,000	16,743,000	552,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 標準報酬月額変更による増
福利厚生費 <23>	538,000	536,000	△ 2,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 健康診断料金等変更による減
退職給付費用 <24>	7,935,000	8,852,000	917,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 中退共掛金変更による増
減価償却費 <25>	4,716,000	5,976,000	1,260,000	什器備品等減価償却費事業費分 (パソコン入替えによる増)
臨時雇賃金 <26>	6,559,000	6,917,000	358,000	臨時職員賃金の最低賃金改定による増
旅費交通費 <27>	1,336,000	1,342,000	6,000	仕事班会議、安全対策等活動旅費等事業費分 (安全管理会議等開催回数増による増)
通信運搬費 <28>	4,002,000	4,680,000	678,000	会員連絡用経費、電話料・郵送料・SMS等事業費分 (会員・発注者電話連絡等の回数増による増)
会議費 <29>	144,000	152,000	8,000	就業会員会議の出席者数増による増 (500人→600人)
消耗什器備品費 <30>	55,000	55,000	0	就業用備品費
消耗品費 <31>	20,043,000	20,080,000	37,000	就業用等消耗品費分 (熱中症予防対策冷感インナーの購入 による増)
修繕費 <32>	69,000	51,000	△ 18,000	就業用機械修繕事業費分 (消毒機修繕見込み減による減)
印刷製本費 <33>	4,766,000	4,524,000	△ 242,000	普及啓発等印刷費 (いちょうびあ新年号等の印刷外注等減による減)
光熱水料費 <34>	1,894,000	1,894,000	0	光熱水料費
賃借料 <35>	7,086,000	7,249,000	163,000	車両・OA機器等賃借料事業費分 (車両リース料値上げによる増)
燃料費 <36>	1,478,000	1,412,000	△ 66,000	車両燃料費等 (燃料価格の下落による減)
保険料 <37>	10,146,000	10,598,000	452,000	シルバー保険料、各種保険料 (保険料値上げによる増)

(2) 経常費用 公益目的事業会計

単位：円

科 目	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
手数料 <38>	284,000	284,000	0	ごみ処理券代、信金振込DVD取扱い 手数料等
委託費 <39>	48,859,000	56,137,000	7,278,000	チラシ・駅看板等各種広告料 (トキメキ記事掲載料金等増による増)
諸謝金 <40>	1,026,000	1,189,000	163,000	悠々会館教室講師、家事援助講師等増 (諸謝金の単価増による増)
租税公課 <41>	27,681,000	51,368,000	23,687,000	インボイス制度による消費税納税分 (49,502,000円) ※参考インボイス経過措置30%の場合 (34,601,000円) 契約用収入印紙税等(1,866,000円)
貸倒引当金繰入額 <42>	100,000	100,000	0	貸倒引当金繰入額 (期首と期末残高で上回った分を繰入)
負担金 <43>	52,000	36,000	△ 16,000	イベント・研修参加負担金等 (イベント参加費不要による減)
雑費 <44>	100,000	100,000	0	損失補てん金等
事業費計 <45>	1,641,378,000	1,763,910,000	122,532,000	

7 収支予算(正味財産増減計算ベース)

(3) 経常費用

法人会計

単位：円

科目	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
管理費				
職員基本給 <46>	10,543,000	10,902,000	359,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 正規職員定期昇給による増
職員特別手当 <47>	5,535,000	6,094,000	559,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 正規職員定期昇給による増
職員諸手当 <48>	4,525,000	4,390,000	△ 135,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 超過勤務手当等変更による減
法定福利費 <49>	3,588,000	3,706,000	118,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 標準報酬月額変更による増
福利厚生費 <50>	119,000	118,000	△ 1,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 健康診断料金等変更による減
退職給付費用 <51>	1,876,000	2,099,000	223,000	正規12名・嘱託4名・非常勤職員2名分 中退共掛金変更による増
減価償却費 <52>	1,156,000	660,000	△ 496,000	什器備品等減価償却費管理費分 (減価償却費減による減)
会議費 <53>	121,000	125,000	4,000	総会等会議費 (物価高騰による飲料費等増による増)
旅費交通費 <54>	963,000	944,000	△ 19,000	役職員等の旅費管理費分 (役職員の出張回数の減に伴う減)
通信運搬費 <55>	275,000	329,000	54,000	電話料・郵送料・SMS等管理費分 (郵送件数の増に伴う増)
消耗什器備品費 <56>	55,000	55,000	0	備品購入費
消耗品費 <57>	556,000	491,000	△ 65,000	総会・事務用消耗品管理費分 (封筒等部数減による減)
修繕費 <58>	55,000	55,000	0	事務所備品修理管理費分
印刷製本費 <59>	540,000	552,000	12,000	総会資料・事務用紙等の印刷代管理費分 (印刷代の値上げによる増)
光熱水料費 <60>	106,000	106,000	0	光熱水料費
賃借料 <61>	638,000	762,000	124,000	コピー・印刷機リース料等管理費分 (コピー機等リース料値上げによる増)
保険料 <62>	220,000	244,000	24,000	役員賠償・個人情報取扱事業者等保険料 管理費分(保険料値上げによる増)
手数料 <63>	311,000	347,000	36,000	両替等各種手数料の値上げによる増

(3) 経常費用

法人会計

単位：円

科 目	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
委託費 <64>	2,660,000	2,041,000	△ 619,000	OA機器管理費等 (システム改修費減による委託費の減)
租税公課 <65>	21,000	40,000	19,000	収入印紙税管理費分 (理事改選に伴う法人登記等に伴う増)
負担金 <66>	268,000	268,000	0	全国シルバー人材センター事業協会 会費・各種負担金
支払利息 <67>	299,000	271,000	△ 28,000	パソコン等リース債務利息相当額 (リース契約時の利息分減による減)
雑費 <68>	50,000	50,000	0	その他諸雑費
管理費計 <69>	34,480,000	34,649,000	169,000	

7. 収支予算（正味財産増減計算ベース）

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益 公益目的事業会計・法人会計

(2) 経常外費用

単位：円

科 目	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)
(1) 経常外収益 <70>			
経常外収益計 <71>	0	0	0
(2) 経常外費用 <72>			
什器備品除却損 <73>	0	0	0
経常外費用計 <74>	0	0	0
当期経常外増減額 <75>	0	0	0

単位：円

一般正味財産増減の部	令和7年度 予算額(A)	令和8年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)
経常収益計 <76>	1,675,325,000	1,795,642,000	120,317,000
経常費用計 <77>	1,675,858,000	1,798,559,000	122,701,000
経常外収益計 <78>	0	0	0
経常外費用計 <79>	0	0	0
当期一般正味財産増減額 <80>	△ 533,000	△ 2,917,000	△ 2,384,000
一般正味財産期首残高 <81>	162,155,000	161,622,000	△ 533,000
一般正味財産期末残高 <82>	161,622,000	158,705,000	△ 2,917,000

II 正味財産期末残高

正味財産期末残高 <83>	161,622,000	158,705,000	△ 2,917,000
---------------	-------------	-------------	-------------